

神戸港の遊覧船「ファンタジー」に乗る

事務局長 池田良穂

6月17日、神戸の海洋博物館のホールで開催された「関西クルーズ振興協議会」の総会に出席しました。この協議会は、国土交通省が各地のクルーズマーケットの振興のために地方の各運輸局内に設置した団体で、近畿運輸局に置かれた同協議会は、今年で創立17年目になります。平成15年の設立総会で、記念講演をさせていただいた関係で、今でも会員の末席を汚しています。

昨年度の活動としては、「関空旅博 2018 クルーズセミナー」をはじめとして、セミナー3回、クルーズ客船来航時のパネル展など8回、アウトバウンド促進事業5回など多彩な活動をしており、今年度も引き続き関西のクルーズマーケット振興のための各種事業を行うことが決められました。

この総会の後、遊覧船「ファンタジー」で神戸港内を周遊しました。この日は、快晴のクルーズ日和で、港内には、帆船「海王丸」、「コスタ・ネオロマンティカ」、「新鑑真」などが停泊していた他、川崎重工の神戸工場には東海汽船のジェットフォイル「セブンアイランド夢」がメンテナンス中?でした。

実は、神戸港の遊覧船に乗るのは、本当に久しぶり。若い頃は、晴れた日曜日は必ずと言っていいほど神戸港に来て遊覧船に乗っていたのですが、コンテナ埠頭が西に移動してしまって、港内で撮影できる船の数が激減したので乗らなくなってしまっていました。でも、今回、久しぶりに港内遊覧船に乗って、シップウォッチングを満喫することができました。



乗船した「ファンタジー」。なかなか快適な船でした。



遊覧船「ロイヤル・プリンセス」です。



遊覧船「オーシャン・プリンセス」



中突堤には水産庁の練習船「開洋丸」がいました。



JAMSTEC の調査船「かいい」が川重で修理中。



日中国際フェリーの「新鑑真」です。



修理中のジェットフォイル「セブンアイランド夢」



第4突堤には「コスタ・ネオロマンティカ」が寄港中でした。



川重のドック脇には自衛隊の潜水艦の姿が見えました。



ユニークな球形ブリッジの「ながら」です。



練習帆船「海王丸」が停泊していました。



RORO 型の新鋭鉄材運搬船「Pioneer A」の姿もありました。



離岸中の PCTC「Toreador」に出くわしました。嬉しい一瞬でした。



ポートタワーの展望台から見た遊覧船桟橋の様子です。



レストラン船「コンチェルト」がトワイライトクルーズに出港していきました。明石海峡を洋上から見ながら、食事やドリンクが楽しめます。